

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校図書館支援事業												
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業			
事業期間	2014(H26)年度			年度	~				年度まで				
根拠法令等	学校図書館法、学習指導要領												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	市内小中学校に在籍する児童・生徒											
	サブターゲット	市内小中学校図書館を活用して児童・生徒の読書活動および学習活動の指導をする教職員											
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒の読書離れが進んでおり、読書活動を推進して学力向上につなげていく必要がある。											
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒が身近に読書に親しむことが可能な学校図書館として十分に活用されていない。											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全小中学校に学校司書を配置して学校図書館の機能の充実および活用を促進させることで、児童・生徒の読書活動をより一層推進し、言語能力及び情報活用能力を育成する。このことにより、子どもたちが生涯にわたり学び生きる力を育む教育環境を提供する。												
事業概要	学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育部(教育指導課)の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、市内小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取り組みを行う。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		小学校図書館の利用が向上し、児童の読書活動が推進される。				全小学校に読書活動・学習活動の支援が広がる。				学校司書配置を小学校へ拡大する。			
	指標説明	市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数				枚方市立図書館の学校教育支援用団体貸出を利用した小学校数				学校司書が配置された小学校数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	23	24	26	28	35	36	38	40	10	8	16	11
	実績	22	24			38	38			0	12		
	達成度	100%				106%				150%			
分析	コロナ禍、感染防止に配慮した学校図書館活用だったが、全体的には貸出冊数は増加し、想定通りであった。				1人1台タブレットの活用が進められる状況だったが、団体貸出を利用する小学校数は維持できた。				学校司書6人を12小学校(2校兼務)に配置した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.57
任期付職員	2.33
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	43,547	34,127	28,733		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,018	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	45,565	34,127	28,733		
	物件費計	6,064	10,394	11,224	11,776	95%
	歳出計	51,629	44,521	39,957		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	51,629	10,394	11,224	11,776	

5. 総括的分析

令和3年度、コロナ禍、また、タブレットの活用が進められる状況において、学校司書配置小学校では、未配置小学校に比べ、学校図書館の貸出冊数が児童1人当たり4.3冊多かった。団体貸出利用においては、小学校の利用校数は令和2年度と変わらなかったが、利用件数は2.2倍増えた。うち72%は配置校の利用で、授業で活用された。いずれも学校司書が配置されたことにより、学校図書館の利用が活性化し、授業での図書資料の活用が進んだと見られる。
 学校教育部と連携して、さらなる小学校への学校司書配置に向けて取り組んだ。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	学校司書への支援を通して、学校図書館の充実を図り、授業への活用や子どもの読書活動推進につなげる。 学校図書館システムの維持管理・サポートを適切に行なう。 市立図書館蔵書を活用して、市内小中学校の学校図書館との連携を図り、児童生徒の読書活動の推進と学習活動の充実を支援する。 学校教育部と連携して、小学校へのさらなる学校司書配置に向けて取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	コンピュータシステム運営事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1996(H8)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	貸出・返却にはじまる様々な図書館サービスをスムーズに行う必要がある。
	ターゲットが抱える課題	レファレンス(調査業務)をするために、窓口へ来るのに不便が生じている。

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	システムを安定的に運用することで、図書館利用者がスムーズな利用ができ、市民からのレファレンスに対しても適切な対応ができています。
-----------------------	--

事業概要	図書館サービスを効率的効果的に提供するため、図書館コンピュータシステムを安定的に運用することを目的に、図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。 また、図書発注の作業のために既に導入しているRPAを範囲を広げて維持し、発注業務の一部を短縮することで、図書の納品を早めることができるほか、職員が選書業務等に時間を割り当てることができ、市民サービスの向上に繋がる。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	図書館利用者が蔵書検索をはじめとするサービスをスムーズに受けることができる。	図書館コンピュータシステムが安定的に稼働する。	図書館コンピュータシステムの運用に必要な保守点検や改修等を行う。	
指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	図書館HPアクセス数	システムが安定的に稼働した日数	サーバ室日常点検(室温確認・UPS点検)日数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	単位: アクセス	単位: 日	単位: 日
	目標(見込み)	R2: 1,622,000 R3: 1,622,000 R4: 1,622,000 R5: 1,622,000	R2: 365 R3: 365 R4: 365 R5: 366	R2: 365 R3: 365 R4: 365 R5: 366
	実績	1,227,758 1,468,970	365 365	358 359
達成度	91%	100%	98%	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が減少し、想定よりもアクセス数が少なくなった。	想定通りであった。	年末年始の休館を除き、職員が出勤している日は必ず点検を行った。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,089	2,153	6,700		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0			
	特別職非常勤	—	0			
	附属機関委員	—	0			
	人件費計	4,089	2,153	6,700		
	物件費計	25,463	26,783	26,062	25,896	101%
	歳出計	29,552	28,936	32,762		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	29,552	26,783	26,062	25,896	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館システムを引き続き適切に運用した。また、令和4年度に実施する図書館システムの更新について仕様書の見直しなど検討を進めた。 ・地域資料電子化等に必要な端末や機器の更新を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が減少し、想定よりもアクセス数が少なくなった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施する図書館システムの更新について、円滑に進めるため準備を進める。 ・利用者が図書館インターネットサービスをスムーズに利用できるよう、公共図書館システムを適切に運営する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	各図書館及び分室施設維持管理事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性				内部事務		区分		一般内部管理事務	
事業期間	1973(S48)年度				年度	~						年度まで		
根拠法令等	枚方市立図書館条例													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		安全性や衛生面の観点から施設の経年劣化等に対して、改善を施す必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	施設及び設備を適切に維持管理することで、利用者が安全かつ快適に図書館を利用できる状態。													
事業概要	図書館及び分室の利用者に快適な利用環境を提供する目的で、図書館および分室の清掃業務、空調機器等の維持管理および修繕等を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						図書館及び分室が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。				
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明					修繕料、工請費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕件数(保全計画に基づく)				
	単位					単位				%				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						100	100	100	100	10	7	7	7
達成度						90%				43%				
分析					ほぼ想定通りであった。				計画していた修繕についてはすべて実施した。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,084	2,153	6,700		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,084	2,153	6,700		
	物件費計	81,988	112,320	75,014	80,685	93%
歳出計		84,072	114,473	81,714		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	6,000	0	22,200	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	6,000	0	22,200	
一般財源		84,072	106,320	75,014	58,485	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館及び分室の施設維持のための委託業務、施設修繕等を行った。 ・市有建築物保全計画に基づき、御殿山美術センター・図書館受変電設備更新工事、津田生涯学習市民センター・図書館外壁・内装・駐輪場外棟の外壁の改修工事、さだ生涯学習市民センター・図書館屋根・外壁の改修工事を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市有建築物保全計画に基づき、楠葉生涯学習市民センター・図書館外壁改修工事、菅原生涯学習市民センター・図書館・陶芸棟給水設備更新工事、菅原生涯学習市民センター・図書館消火設備改修工事、中央図書館外壁改修工事、中央図書館消火設備改修工事、中央図書館 給水設備更新工事を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	自動車文庫運営事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973 (S48) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の自動車文庫利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	最寄りの地域に図書館及び分室等が設置されておらず、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自動車文庫の運営によって、地域間で生じる不便が解消し、市内全域できめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付の業務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。	主に市内のステーション近隣の住民が、自動車文庫を利用する。	自動車文庫により市内のステーションを巡回して図書館サービスを提供する。	
指標設定	指標説明	自動車文庫の貸出冊数(個人・団体)	自動車文庫の延べ利用者数	巡回するステーション数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 冊	単位 人	単位 ステーション
	目標 (見込み)	R2 44,469 R3 44,469 R4 44,469 R5 44,469	R2 9,878 R3 9,878 R4 9,878 R5 9,878	R2 22 R3 22 R4 22 R5 22
	実績	R2 26,067 R3 44,459	R2 7,809 R3 14,972	R2 27 R3 27
達成度	100%	152%	123%	
分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、病院内ステーションの巡回が運休となった半面、3分室閉室後巡回するステーションが増えて利用者が増加し、貸出冊数も増えた。	3分室閉室後巡回するステーションが増え、利用者が増加した。	新型コロナウイルス感染拡大により病院内ステーション(3か所)は運休となったが、3分室閉室後巡回するステーションを増やした。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.08
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	25,722	26,165	17,165		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	1,929	1,979		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	25,722	28,094	19,144		
	物件費計	157	226	277	136	204%
	歳出計	25,879	28,320	19,421		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	25,879	226	277	136	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>(自動車文庫) 開室日:574日 貸出冊数(個人):42,926冊 予約受付件数(個人):6,817件 延べ利用者数:14,972人</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため市立病院・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院の3ステーションが運休となったが、3分室閉室後に巡回するステーションを増やしたため、利用が増加した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全域サービス実施のために、固定施設の利用が難しい地域や市民に図書館利用機会を提供する。 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施しながら、最適な役割分担と配置の検討を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	障害者利用促進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1982(S57)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	・視覚障害者等(視覚障害者、肢体不自由者、寝たきりの人、学習障害者等)・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	障害の有無によって利用できない図書館サービスが生じてしまう。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	録音・点字資料の貸出や、対面読書、おはなし会など利用者の障害に対応したサービスが提供されることで、利用者が障害の有無にかかわらず、図書館サービスが広く利用される状態。
-----------------------	---

事業概要	障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等の養成を行い、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者の養成を行う。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。	障害を有する利用者が図書館に来館し、対応したサービスを受けることができる。	録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行う。

指標設定	指標説明	障害を有する利用登録者数	点字・録音図書貸出タイトル数	点字・録音図書所蔵数																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>124</td> <td>122</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	118	118	118	118	124	122			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>タイトル</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>5,200</td> <td>5,200</td> <td>5,200</td> <td>5,200</td> </tr> <tr> <td>3,455</td> <td>2,771</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	タイトル	R2	R3	R4	R5	5,200	5,200	5,200	5,200	3,455	2,771			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>タイトル</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>6,800</td> <td>6,800</td> <td>6,800</td> <td>6,800</td> </tr> <tr> <td>6,874</td> <td>6,744</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	タイトル	R2	R3	R4	R5	6,800	6,800	6,800	6,800	6,874	6,744		
	単位	人																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
	118	118	118	118																																										
124	122																																													
単位	タイトル																																													
R2	R3	R4	R5																																											
5,200	5,200	5,200	5,200																																											
3,455	2,771																																													
単位	タイトル																																													
R2	R3	R4	R5																																											
6,800	6,800	6,800	6,800																																											
6,874	6,744																																													
達成度	103%	53%	99%																																											
分析	想定通りであった。	新型コロナウイルス感染拡大により、来館での貸出利用が減少した。	使用のため劣化した点字図書の除籍を行ったため前年度よりタイトルは減少したが、新規資料の受入もあったためほぼ想定通りであった。																																											

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。	視覚障害者等がデジタイズ再生機器を利用する	録音図書利用促進事業を実施する

指標設定②	指標説明	障害を有する利用登録者数	視覚障害者等の利用人数	視覚障害者等の利用回数																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>124</td> <td>122</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	118	118	118	118	124	122			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5		14	14	14		10			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	回	R2	R3	R4	R5		14	14	14		10		
	単位	人																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
	118	118	118	118																																										
124	122																																													
単位	人																																													
R2	R3	R4	R5																																											
	14	14	14																																											
	10																																													
単位	回																																													
R2	R3	R4	R5																																											
	14	14	14																																											
	10																																													
達成度	103%	71%	71%																																											
分析	想定通りであった。	新型コロナウイルス感染拡大により、来館での利用が想定よりも少なくなった。	新型コロナウイルス感染拡大により、来館での利用が想定よりも少なくなった。																																											

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.37
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.67
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	29,297	22,296	29,958		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,780	1,929	1,658		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	31,077	24,225	31,616		
	物件費計	1,255	880	1,019	1,560	65%
	歳出計	32,332	25,105	32,635		
歳入	国庫支出金	0	233	324	484	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	233	324	484	
	一般財源	32,332	647	695	1,076	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者に対する録音資料の貸出(2,693タイトル)、点字資料の貸出(78冊)、対面読書(113回)を実施した。 ・点字、録音図書等の制作・貸出や対面読書を実施した。新型コロナウイルスの影響を受ける中で、Zoomでの対面読書の遠隔実施も行った。 ・音訳協力者の養成のために、音訳協力者連絡会・スキルアップ研修会や音訳学習会(公開講座)を実施した。 ・「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」「バリアフリー映画上映会」「学習障害講演会」を開催した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	読書バリアフリー法を踏まえるとともに、新型コロナウイルスの影響下においてもサービスを継続的に提供できるよう検討し、引き続き障害者に対するサービスの充実に努める。また、バリアフリー読書支援サービスについてより積極的に広報を行い、サービスの周知を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館資料購入事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス				特性	選択的事業				区分	一般事務事業		
事業期間	1973(S48)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	枚方市立図書館条例												
関係補助金名称									サンセット				
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		市民が求めている新しい図書・資料との出会いが困難となる。										
	ターゲットが抱える課題		正確で新しい情報を知る機会を求められている。										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	蔵書バランスや市民のニーズ等を踏まえ、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入し、図書館サービスの充実が図られた状態。												
事業概要	基本的な蔵書構成を維持し、かつ市民の多様なニーズに応えるため、娯楽のための雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館サービスの充実を図ることを目的として、入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	新しい蔵書を求めて、市民が来館することで、継続的な読書活動が推進される。				アウトプット(活動結果)	購入資料は図書館資料として整備・配架され、市民の利用に供する。				インプット(活動)	雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広く資料を購入する。			
	指標説明	市民一人あたりの貸出冊数				配架された図書館資料数				図書館資料の購入冊数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	8.70	8.70	8.70	8.70	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000		
	実績	7	9.69			59,934	42,548			45,026	29,456				
	達成度	111%				118%				82%					
分析	香里ヶ丘図書館がリニューアルオープンしたことにより、香里ヶ丘地域の利用が増大し、それに伴い市民一人あたりの貸出冊数も増加した。				購入資料冊数は減少したが、寄贈受入冊数を加味するとほぼ想定通りであった。				蔵書の更新計画に従い辞書類やレファレンスブックなどの高額な資料の更新を進めたため、購入冊数が減少した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	5.48
任期付職員	2.40
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	61,279	54,955	48,180		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	61,279	54,955	48,180		
	物件費計	70,465	69,946	58,017	58,000	100%
	歳出計	131,744	124,901	106,197		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	1,000	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	700	2,926	2,946	3,646	
	歳入計	700	2,926	3,946	3,646	
	一般財源	131,044	67,020	54,071	54,354	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施した。 ・図書館の蔵書となる図書を児童書8,901冊、一般書20,555冊、合計29,456冊購入した。 <p>図書館蔵書については情報の古い資料の更新などを計画的に行っているが、結果として資料購入冊数が減少した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、香里ヶ丘図書館がリニューアルオープンしたことにより、香里ヶ丘地域の利用が増大し、それに伴い市民一人あたりの貸出冊数も増加した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「枚方市立図書館蔵書計画基本指針」「枚方市立図書館資料選書基準」に基づき、選書した図書を計画的に購入する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													図書館分館運営事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		総合教育部			課		中央図書館				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
		施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
		実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		1979(S54)年度			年度		~				年度まで					
根拠法令等		枚方市立図書館条例														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		気軽に立ち寄れる最寄りの地域に中央図書館がない市民が、図書館サービスを利用しにくい。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。														
事業概要		香里ヶ丘図書館の建替え、及び7分館への指定管理者制度の導入が完了したため、さらに効果的・効率的な図書館分館運営を行うことを目的とし、地域の図書館サービスの拠点として、中央図書館、図書館分室、また、他の分館と連携を図りながら、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス(利用者が調べたい内容に対し、適切な図書館資料や情報等を提供して調査支援を行うサービス)、各種行事等の充実した図書館サービスの提供を行っていく。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民を主に図書館分館を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		分館の貸出数		分館の来館者数合計		分館数								
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5								
		目標(見込み)		2,044,908 2,044,908 2,044,908 2,044,908		1,293,153 1,293,153 1,293,153 1,293,153		7 7 7 7								
		実績		1,743,806 2,586,621		921,113 1,293,827		7 7								
		達成度		126%		100%		100%								
分析		香里ヶ丘図書館のリニューアルオープンにより、香里ヶ丘地域の利用が大幅に増加した。		想定通りであった。		想定通りであった。										

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,063	7,798	6,700		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,780	338	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	23,843	8,136	6,700		
	物件費計	359	77,133	359,930	361,103	100%
	歳出計	24,202	85,269	366,630		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	52	144	500	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	52	144	500	
	一般財源	24,202	77,081	359,786	360,603	

5. 総括的分析

総括的分析	(分館合計) 年間開館日数:2,394日 貸出冊数:2,586,621冊 予約受付件数(個人):626,617件 延べ利用者数:1,225,661人 令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響下にありながらも、感染防止対策を徹底し児童・成人向けの各種事業を積極的に実施した。また、香里ヶ丘図書館のリニューアルオープンにより、香里ヶ丘地域の利用が大幅に増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館分室運営事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	中央図書館や分館が気軽に立ち寄れる最寄りの地域にない市民は図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、各種行事等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。	近隣住民を主に図書館分室を利用する。	地域拠点として図書館サービスを提供する。	
指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	指標説明	分室の貸出冊数	分室の来館者数合計	分室数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 冊	単位 人	単位 室
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	527,116 527,116 527,116 527,116	205,624 205,624 205,624 205,624	10 10 10 10
達成度	392,051 447,137	116,730 132,681	7 7	
分析	85%	65%	70%	
分析	新型コロナウイルス感染拡大に伴う来館者の減少により、貸出冊数も減少した。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、来館者が想定よりも少なくなった。	令和2年度末で東香里・茄子作・釈尊寺の3分室が閉室したため、分室数が減少した。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.08
任期付職員	16.80
会計年度任用職員	3.87
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	122,993	101,918	81,566		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	13,656	10,852	9,572		
	特別職非常勤	—	0			
	附属機関委員	—	0			
	人件費計	136,649	112,770	91,138		
	物件費計	3,857	12,822	3,038	3,141	97%
	歳出計	140,506	125,592	94,176		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	140,506	12,822	3,038	3,141	

5. 総括的分析

総括的分析	分室(市駅前サービススポットを含む) 年間開館日数: 1,594日 貸出冊数: 447,137冊 予約リクエスト受付件数(個人): 171,358件 延べ利用者数: 219,269人 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたため延べ利用者・貸出冊数が当初の目標を下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中央図書館運営事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性				選択的事业		区分		一般事務事業	
事業期間	2005(H17)年度				年度	~						年度まで		
根拠法令等	枚方市立図書館条例													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職の利用者 ・その他図書館利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		市内図書館・分室における図書館運営及び図書館サービスの統括が必要。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立図書館の核として、他の図書館施設を統轄するとともに、連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。													
事業概要	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供することを目的として、幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				市民が中央図書館を利用する。				枚方市立図書館の核として幅広い図書館サービスを提供する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		中央図書館の貸出冊数		中央図書館の来館者数		中央図書館での事業実施回数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		892,503	892,503	892,503	892,503	491,092	491,092	491,092	491,092	17	41	41	41
	実績		499,053	764,594			236,394	351,482			21	145		
達成度		86%				72%				354%				
分析		新型コロナウイルス感染拡大に伴う来館者の減少により、貸出冊数も減少した。				新型コロナウイルス感染拡大に伴い、来館者が想定よりも少なくなった。				新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、イベントの規制緩和時期に積極的に事業を実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	13.08
任期付職員	11.07
会計年度任用職員	6.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	165,019	158,936	140,824		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	12,084	12,202	15,804		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	177,103	171,138	156,628		
	物件費計	22,884	21,800	22,838	25,016	91%
	歳出計	199,987	192,938	179,466		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	500	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	636	823	282	786	
	歳入計	1,136	823	282	786	
	一般財源	198,851	20,977	22,556	24,230	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>・年間開館日数:292日 貸出冊数(個人):764,594冊 予約受付件数(個人):64,135件 延利用者数:292,454人</p> <p>令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、来館者数が減少し、それに伴い貸出冊数も減少した。実施事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつもイベント開催規制緩和の時期に感染予防対策を徹底し、積極的に実施したことで実施回数が増加した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。中央図書館の利用は感染症拡大前の水準へ徐々に回復しつつあるので、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	分館・分室巡回業務											
測定年度	2021 (R3) 年度			部	総合教育部				課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業		
事業期間	2000 (H12) 年度			年度	~				年度まで			
根拠法令等	枚方市立図書館条例											
関係補助金名称								サンセット				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		・枚方市内在住・在学・在職等の図書館利用者									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		巡回がなくなると、市民の求める資料を最寄りの各図書館サービスポイントで受け取れなくなる。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が希望する最寄りの各図書館サービスポイントで貸出・返却が可能になる。											
事業概要	各図書館・分室が所蔵している図書館資料について、他の図書館・分室で貸出・返却が行えるよう図書館資料の巡回運搬を実施し、市民の利便性の向上を図ることを目的として、各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	最寄りの各図書館サービスポイントで求める資料を借りることができる。	図書館や分室間での所蔵資料の相互貸借が可能となる。				図書館資料の巡回運搬を実施する。							
指標設定	指標説明	インターネットによる事前予約件数				図書館サービスポイント間の巡回回数 (分館巡回回数+分室巡回回数)				巡回するサービスポイント数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	580,000	580,000	580,000	580,000	499	499	499	499	18	18	18	18
	実績	648,350	723,124			502	501			18	15		
	達成度	125%				100%				83%			
分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予約受渡サービスの需要が増大したため、想定を上回る件数となった。				想定通りであった。				令和2年度2月末での東香里・茄子作・釈尊寺分室の閉室により、巡回するサービスポイント数が減少した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.88
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,042	1,356	14,479		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,042	1,356	14,479		
	物件費計	14,057	14,122	13,007	16,560	79%
	歳出計	15,099	15,478	27,486		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	15,099	14,122	13,007	16,560	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務に必要不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。 ・中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により計画通りに実施した。 ・図書館分室の見直しによる3分室の閉室に伴い巡回するサービスポイント数は減少したが、代替として自動車文庫の巡回ステーション数を増加させた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き図書館業務に必要不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子どもに本を届ける事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市基金条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	枚方市内在住・在学の子ども
	サブターゲット	寄附希望者
	ターゲットが抱える課題	子どもたちにはより多くの本との出会いが必要。
	ターゲットが抱える課題	寄附したくなる魅力の創出。

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校・保育所(園)・幼稚園や図書館などを利用する子どもたちがよりたくさんの本と出会うことができる。
-----------------------	---

事業概要	子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入する。以下の方法で基金を積み立てる。1.ふるさと寄附金による基金の積み立て。2.市民からいただいた寄贈図書のうち、図書館資料として活用しなかった図書については売却し、その売却益を基金に積み立てる。積み立てた基金で絵本や児童書を購入し、学校や保育所(園)、幼稚園、地域の子育て団体に届ける。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用する。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	購入図書を学校や保育所、幼稚園等に届ける。	基金を活用して絵本や児童書を購入する。	ふるさと寄附金や売却益を基金に積み立てる。

指標設定	指標説明	学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数	基金による児童書購入冊数 (基金執行予定額÷1冊当たりの児童書購入平均額(令和3年度時点直近3年間の平均額:1,550円(税込み)))	基金積立額
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	達成度	73%	249%	100%
	分析	新型コロナウイルス感染拡大のため、学校や保育園・幼稚園が休校・休園になるなどしたため、団体貸出冊数が減少した。	基金からの充当額を増額したため、児童書の購入冊数が増加した。	ほぼ想定通りであった。
	目標(見込み)実績	92,345 73,713 75,924 78,201	4,160 2,100 2,100 2,100	3,406,000 3,256,000 3,256,000 3,256,000

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,283	2,552	9,337		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,283	2,552	9,337		
	物件費計	9,456	7,935	6,265	5,626	111%
	歳出計	10,739	10,487	15,602		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	9,523	7,935	6,265	5,626	
	歳入計	9,523	7,935	6,265	5,626	
	一般財源	1,216	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	積立金額 3,265,253円 うち指定寄附金分 3,261,344円(自動販売機からの寄附金(商品代金の一部<3%> 131,344円含む) うち古紙売却益分 3,707円 うち利子収入 202円 令和2年度積立金のうち3,000,000円を子どもに本を届ける事業へ充当し、児童書を購入、子ども読書活動推進のための団体貸出用の図書として所蔵した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業について、さらに広範囲かつ積極的にPRを行う。 ・学校など現場が求めている本の把握と、適切な蔵書を購入する。 ・物流の充実を図り、子どもたちや教育機関等へ円滑に本を届けられるようにする。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	電子図書館運営事業												
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標			17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业		区分	一般事務事業	
事業期間	2021(R3)年度		年度	~	-	年度まで	
根拠法令等	-						
関係補助金名称	-					サンセット	-
関係附属機関名称	-						

事業対象	メインターゲット	図書館利用者、身体障害者や高齢者等の来館が難しい方
	サブターゲット	視覚障害者や学習障害者等
	ターゲットが抱える課題	図書館に来館しないとサービスを受け取れない。
	ターゲットが抱える課題	活字での読書が困難であることにより、情報にアクセスしにくい。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館がやむをえず休館した場合でも、図書館利用者が継続してサービスを受けられること。 来館が難しく、図書館を利用できていなかった方がサービスを受けられること。 視覚障害者等の活字での読書が困難な方に、アクセシブルな形態でのサービスを提供すること。
---------------------------	---

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した学校教育の支援を行う。 令和3年度については、約6,000タイトルを所蔵予定だが、新型コロナウイルス感染症の第6波が近付く中で、コロナ禍における市民ニーズに対応するため、追加で電子書籍約500タイトルを購入する。財源については、地方創生臨時交付金を充当予定。
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
		来館が難しい方でも電子書籍を借りることで図書館サービスを受けることができる。	電子書籍を実際に貸出し、非接触型・非来館型サービスを提供する。	電子図書館システムを導入し、電子書籍の提供を開始する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
指標説明	利用者満足度	電子書籍貸出冊数	電子書籍の蔵書タイトル数										
	電子書籍利用者へのwebアンケート												
	単位			%	冊	タイトル							
	指標種類			増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標							
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標(見込み)	—	80	80	80	—	6,500	7,000	7,500	—	6,500	7,000	7,500
達成度	実績	—	70			—	17,860			—	6,795		
	達成度	88%				275%				105%			
分析		「読みたい電子書籍が少ない」という回答が前回答数の25%となり、満足度を下回った。	新型コロナウイルス感染拡大による電子図書館の需要の高まりから、想定よりも大幅に利用が多かった。	想定通りであった。									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	6,700		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	6,700		
	物件費計	—	—	27,302	27,302	100%
	歳出計	—	—	34,002		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	27,302	27,302	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いつでも・どこでも資料が利用できる電子図書館の需要が大きく高まり、想定を大きく上回る利用となった。ただし、利用者アンケートでは「読みたい電子書籍が少ない」という意見が全体の25%を占め、利用者満足度は目標を下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本事業に対する需要が高まることが予想されるためそれに対応できるよう電子書籍の追加購入なども検討する。利用者の読みたい電子書籍のニーズの把握に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		図書館運営事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務			
事業期間	1973(S48)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	枚方市立図書館条例													
関係補助金名称								サンセット						
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		図書館業務に携わる職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		図書館業務を適正かつ効率的に執行し、図書館サービスの向上を図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ効率的な図書館所管事務の執行 図書館サービスの向上 													
事業概要	課の運営事務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,300	26,798	7,538		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0			
	特別職非常勤	—	0			
	附属機関委員	—	0			
	人件費計	28,300	26,798	7,538		
	物件費計	4,416	4,105	2,061	1,386	149%
	歳出計	32,716	30,903	9,599		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	32,716	4,105	2,061	1,386	

5. 総括的分析

総括的分析	図書館及び分室の庶務事務等を適切に実施した。
-------	------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き効果的・効率的な事務執行に努める。